

第 53 回地域安全学会研究発表会(秋季)に参加しました (2023/11/18-19)

テーマ：災害科学

場 所：静岡県地震防災センター（静岡県静岡市）

11月18日（土）～19日（日）の2日間、地域安全学会の秋季研究発表会が、静岡県地震防災センターで開催されました。地域安全学会は、研究者、技術者、国や地方自治体の実務家などによる、自然災害や人為災害を対象として地域の安全問題に関する研究を行う学会です。当研究所からは、3編の査読論文（うち、筆頭著者1編）と4編の一般論文の研究発表が行われました。毎年、秋季研究発表会では、優れた査読論文発表（指導を受ける立場にある筆頭著者が対象）に対して論文奨励賞が選出されます。今回は、論文奨励賞受賞2件のうち1件が、当研究所の教員が指導し、共著になっているものでした。当研究所から論文奨励賞が選出されるのは3年連続です。発表論文は次の通りです。

【査読論文】

[論文奨励賞] 若木望, 佐藤翔輔, 邑本俊亮, 今村文彦ら：時短型災害語り部学習プログラム「ツナミリアル」の効果検証に関する実験的研究

佐藤翔輔, 今村文彦：被災自治体による発災から復興過程におよぶ災害対応記録誌の作成プロセス

東野幹久, 村尾修：東日本大震災被災地の復興事業データに基づく事前高台移転の有益性に関する比較研究

【一般論文】

村尾修, 坂茂ら：みらいの避難所プロジェクト：川崎市における避難生活体験

郷右近英臣, 佐藤翔輔ら：地域安全学夏の学校 2023—基礎から学ぶ防災・減災—

佐藤翔輔ら：Jリーグとヤフー防災模試の連携による防災啓発 2022年と2023年の事例比較研究

渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦：屋内測位技術を用いた震災伝承施設の来館者行動解析法の開発

（※著者名は、筆頭著者と研究所構成員のみ記載。下線は当研究所構成員。）

優れた一般論文発表に対して贈られる優秀発表賞の授与式も行われ、今年5月に神奈川大学で開催された第52回春季研究発表会優秀発表賞受賞者として、当研究所の津波工学研究分野（大学院工学研究科）に所属する渡邊勇氏（D1）と防災社会推進分野の新家杏奈助教（欠席）に対して、学会長である村尾修教授（国際防災戦略研究分野）より賞状が授与されました。

文責：村尾修（国際防災戦略研究分野）、佐藤翔輔（防災社会推進分野）
（次頁へつづく）



学会長：村尾修教授による挨拶



発表の様子（東野幹久氏 ※本学OB）



〔論文奨励賞〕若木望氏による挨拶



〔論文奨励賞〕佐藤翔輔准教授による研究指導
 教員としての挨拶



〔春季優秀発表賞〕授与式の様子
 左：渡邊勇氏、右：村尾会長



会場の外観